

令和4年5月16日時点

## 原油価格・物価高騰等に伴う各産業分野への影響 (各産業分野へのヒアリング結果)

### ○概要

- ・製造業を中心に、様々な業種において、原材料価格、燃料費、電気料金の高騰により経営が非常に厳しいとの声がある。
- ・多くの中小企業においては、取引先との関係や、売り上げの減少を招く恐れがあるため、原材料等の高騰分の価格転嫁がままならない状態が続いている。
- ・また、ウクライナ情勢や直近の急激な円安等の不透明感により、今後更なる原材料価格等の高騰を心配する声も出ている。

### ○金融機関

- ・原材料高により価格転嫁せざるを得ない状況であるが、大手企業と取引しているところほど、価格転嫁ができていない状況である。
- ・仕入価格が2～3割上昇していても、上昇分全てを価格転嫁できるわけではなく、1～2割の価格転嫁に留まっている企業もある。
- ・アルミや銅を使用する金型メーカーなど製造業は、円安や原材料高の影響が顕著であり、厳しい状況。
- ・アパレル等、輸入を行っている先は、円安の影響をかなり受けている。
- ・窯業でプロパンガスを使用している先は、燃料費の上昇により厳しい状況にある。

### ○製造業

- ・中小企業者の目下の課題は、原材料高で、早期の価格転嫁は困難である。(航空機、自動車部品)
- ・コロナ禍、ウクライナ情勢の影響を受けて、経済活動への波及は、弊社事業に大きく影響している。(機械・システム設計)
- ・現在直面している課題は原材料の高騰(鋼材及び電気代は2割、ガソリン代は4割増)。(プラスチック製品)
- ・取引先とは価格転嫁の交渉をするも応じてもらえない。中小企業だけで吸収できるものではない。(プラスチック製品)
- ・原材料、電力価格などを含めた値上げを求められており利益面では厳しい状況が予測される。(プラスチック製品)
- ・原油高により、アメリカへの輸送料が倍になったが、取引先が価格転嫁に応じて

もらえない。(自動車部品)

- ・光熱水費、原材料の高騰が価格へ転嫁できない。(プラスチック製品)
- ・原材料価格の高騰、円安の影響、価格転嫁の困難により、収益は厳しい状況。(プラスチック製品)
- ・ウクライナ情勢によりアルミの輸入が止まり、エネルギー費も高騰。以前と比べて3倍の値段となっている。(輸送機械器具)
- ・材料・油・刃具等全般的に値上げ傾向が続く。また、それに伴う外注加工費も値上げになっている。(輸送機械器具)
- ・重油の値段が上がって燃料費が60%増加しており、利益を圧迫している。(輸送機械器具)
- ・原材料であるアルミの値段が高止まりするなど、なにもかも値段があがってきており、先行きが見えない状況である。(輸送機械器具)
- ・原材料等の値段は上がるので価格転嫁したいが、実際にはなかなかできない。中小企業に厳しい状況になってきている。(輸送機械器具)
- ・原材料費の値上がりについては一部価格転嫁しているところであるが、消耗品は自社吸収せざるを得ない。(非鉄金属)
- ・原材料に係る価格転嫁はほぼ目標額に達しているが、これまでの負担分と労務費上昇分の価格転嫁は交渉が難航している。(生産用機械器具)
- ・円安やエネルギー価格の上昇の影響は、現時点ではない。ただし、今後間違いなく影響が出てくる。(金属)

### ○繊維・アパレル業

- ・原材料価格が少しずつ上がってきている。特にハンガー等の石油製品や輸送料に影響が出てきている。

### ○商店街

- ・ウクライナ情勢や急激な円安等で仕入れ価格が上昇しているが、すぐに価格転嫁できない。
- ・原材料価格の値上がりにより、スーツ用ウール生地が春から10%の値上げ。秋には再度5%ほど値上げの見込み。

### ○物流

- ・荷主も原材料費高騰等の影響があり、価格転嫁が難しい。
- ・月平均で100万円程度燃料費が高騰してきている。価格転嫁できるのは価格の一部に限られている。

## ○食品

- ・売価に反映させたいが事業者の理解が得られず、2割程度売上が落ちる可能性がある。
- ・蜂蜜などの輸入商品は円安による影響が大きく、また、ウクライナ産蜂蜜の輸入も期待できないことから確保が難しい状況。

## ○紙

- ・パルプの原料価格が2～3倍、トイレットペーパーも原料が上がっている。大手が値上げとなった場合には、県内で事業者も値上げを検討していかなければならない。
- ・ウクライナ情勢や、原油価格高騰によりエネルギー、原材料、資材、工賃、物流などすべてが高騰している中で、海外で予定通り生産が進まない。
- ・消費者への丁寧な説明とともに値上げへの理解を求める。
- ・輸出面において、円安の影響により10%程度売り上げが増加した。

## ○木工・木材

- ・原材料高、円安の影響により、仕入れ価格が高騰している。
- ・原材料（木材・金具・塗料・梱包用ダンボールなど）と配送料が10～30%程度値上がりしている。

## ○刃物

- ・仕入単価は15～25%増、海外輸出の運送料は倍増した。

## ○陶磁器

- ・原料の輸入における円安の影響が大きい。
- ・燃料費が1.8倍となり、土などの原材料コストも1.2倍となっており、今後、価格交渉をしていく必要がある。
- ・為替の影響は材料確保という観点で影響があり、国内向け製品はこれから影響が出てくると思われる。
- ・ガスの値段が、昨年6月と比べて今年の4月は2倍になっている。価格の転嫁は慎重に行う必要があるので困っている。

## ○エネルギー

- ・銅の高騰で電線の価格が上昇している。
- ・LPガスの輸入価格の高騰などにより販売店は減ってくる。

